

留 学 報 告 書

記入日:2016年6月19日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部商学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学フラトン校 現地言語: California State University, Fullerton
留学期間	2015年8月～2016年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年5月25日
明治大学卒業予定年	2017年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8月下旬～12月中旬 2 学期:1月下旬～5月中旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	3万305人
創立年	1957年

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料	11,244	1,350,000 円	2学期分
宿舍費	10,764	1,290,000 円	ダブルルーム、80ブロック
食費	200	24,000 円	外食代
図書費	500	60,000 円	教科書代
学用品費	10	1,200 円	
教養娯楽費	1500	180,000 円	旅行代など
被服費	300	36,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	1200	144,400 円	形態:明治の保険とフラトン指定の保険
渡航旅費	1800	216,000 円	
雑費	150	18,000 円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	26,268	3,150,000 円	1ドル=120円として計算

渡航関連

渡航経路:エバー航空

渡航費用

チケットの種類	エコノミー
往路	13 万
復路	
合計	13 万

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

エクスペディア

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数5)

3)住居を探した方法:

大学のホームページから

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

夜遅く授業が終わっても大学内に家があるので安全だしとても楽だった。費用は少し割高だが、イベントも定期的であり友人がしやすい環境なので満足している。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

問題は特に起きなかった。国際事務室のようなものがあるがあまり親切とは言えない。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

アメリカ大使館からや大学からのメールなどで情報は送られてくるが、比較的フラトンは治安が良かったので問題はなかった。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内は wifi があるので特に困らない。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

渡航時に日本からある程度現金は持っていく、その他はほとんどクレジットカードで生活していたため、口座は作らなかった。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日系スーパーや 100 均もあるので揃わないものはない。

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) SPI の勉強や自己分析などは留学先でもできると思う。留学生の採用枠もあるので帰国後そこまで焦らなくてもよいと思う。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24単位	<input checked="" type="checkbox"/> 14 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Understanding Business	ビジネス入門
科目設置学部・研究科	Business Administration
履修期間	2015 年 8 月~12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に165分が1回
担当教授	Zack Dafaallah
授業内容	ビジネスの基本、アカウンティングからマーケティングまで取り扱うピックは広く浅い
試験・課題など	中間テストがマークシート式で 3 回あるのと、自分でビジネス案を考える課題が 3 回。期末試験も中間試験と同様マークシート式
感想を自由記入	ビジネスを基礎中の基礎から学べたのでよかった。留学生がとても多いクラスだったのでプレゼンの時間などが面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Principles of Marketing	マーケティング管理論
科目設置学部・研究科	Marketing
履修期間	2015 年 8 月~12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に165分が1回
担当教授	Chrstopher Anichich
授業内容	マーケティングの概念から現代のマーケティングまで、アメリカのみならず世界のマーケティングを扱う。
試験・課題など	ポップクイズが 10 回近くあるがマークシート式。レポートが A4 用紙 22 枚書かなければならない。
感想を自由記入	教授がユーモアにあふれる人で授業が面白かった。マーケティングの基礎から学べる。レポートの課題が大変だったが、留学生なので満点をくれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Entertainment and tourism study	エンターテインメント・観光論
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	2015年8月～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に165分が1回
担当教授	Henry Puente
授業内容	映画、テレビ、スポーツ、テーマパーク、旅行など幅広い分野でエンターテインメント産業について学ぶ
試験・課題など	毎週授業後オンラインでその日の授業に関するクイズが10問ほど出される。中間試験も期末試験もすべてオンラインなので友達と協力したり、教科書を見ながら受けられる。レポートが3回あった。
感想を自由記入	毎回クイズがあるのでノートを取るのに必死だった。毎回動画を見せてくれたりするので授業は飽きなかったがレポートやリーディングが多く大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to American Pop Culture	アメリカ文化論
科目設置学部・研究科	American Study
履修期間	2015年8月～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に95分が2回
担当教授	
授業内容	近代のアメリカのポップカルチャーについて、テレビ、映画、メディアから学ぶ
試験・課題など	中間試験が1回と期末試験が1回のみ。課題はない。
感想を自由記入	パワーポイントも何もなくひたすら教授の話だけで授業が進むので集中するのが大変だった。試験は記述だが、事前にトピックを用意されるので、準備し覚える作業であった。教授が留学生に対して理解が深く、優しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Principles of Advertising	広告論
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	2016年1月～5月
単位数	3
本学での単位認定状況	4単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に95分が1回
担当教授	Kuen-Hee Ju-Pak
授業内容	広告産業について知識、理論、現在の慣習などグループワークと平行して学ぶ
試験・課題など	全14回ほどクイズがあった。中間試験2回。学期中ずっと同じグループで広告プランを考えるプロジェクトが進む。
感想を自由記入	教授が韓国人で英語は彼女の第二言語だったので、英語がわかりやすかった。毎週のようにクイズがあったが故意なのかかわからないがいつもほとんど答えが問題用紙に書いてあったのでいつも満点だった。ディスカッションやグループワークは大変だが教授はゆるい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Entertainment business	エンターテインメントビジネス論
科目設置学部・研究科	Management
履修期間	2016年1月～5月
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に95分が2回
担当教授	Harold Fraser
授業内容	エンターテインメント産業のビジネスや経済の側面を学ぶ。
試験・課題など	中間試験が2回と期末試験が1回。レポートとレポート報告の提出が各1回。課題は基本的でない。
感想を自由記入	ユーモアのある教授で、授業は少人数であったが発言の活発な授業であった。レポートやテストはそこまで難しい。ゲストスピーカーが来て行われる授業もあり楽しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Business and Management	国際ビジネス論
科目設置学部・研究科	Management
履修期間	2016年1月～5月
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッション形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に165分が1回
担当教授	Mark Nguyen
授業内容	国際市場における経営者の視点で国際ビジネスの枠組みを学ぶ
試験・課題など	中間試験が2回と期末試験が1回。グループプレゼンが一度あった。課題はケースを読んでレポートを書いてくるものが2回ほどあった。
感想を自由記入	インターナショナルが多かったが積極的な生徒が多く発言が多かった。授業の中休みに毎回スナックや飲み物を持ってきてくれるような優しい教授だった。テストがすべて記述でとても大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to psychology	心理学
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	2016年1月～5月
単位数	3
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に165分が1回
担当教授	心理学の概念から現象まで基本的なフレームワークを学ぶ
授業内容	心理学
試験・課題など	中間試験が3回と期末試験が1回。課題は、心理学に関する映画を見て、レポートを書くものが一度あった。
感想を自由記入	基本的に教授の話だけで授業が進む。試験の前には試験に出る問題を教えてくれるのでそこまで大変な授業ではなかった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	TOEFL の勉強、受験
4月～7月	出願、ビザ申請など書類系の準備
8月～9月	渡航、授業開始
10月～12月	中間試験など
2015年 1月～3月	1 か月間の冬休みの後、春学期開始
4月～7月	期末試験、帰国、就活
8月～9月	
10月～12月	
2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私は海外旅行に行ったり、海外の文化を知ることがとても好きで昔から留学に漠然とした憧れを抱いていたのですが、大学に入学してから明治の協定留学制度を知り、留学カウンセリングなどを通して、好きだった英語を机上の勉強だけでなく実践的に勉強したいと強く思いました。また専攻のマーケティングをマーケティングが生まれた本場の国で、ダイバーシティの中で深く研究したいと思いました。こうした学習面はもちろん、異国の地で生活し、自分の人間力も養えたらいいなと思い決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	会話のフレーズを中心に事前に英語を勉強しておくともっと留学が楽しくなると思いました。日本の文化を勉強しておくことももちろんですが、世界の宗教や文化も多様なバックグラウンドを持つ人が集まる学校であったので一般教養として勉強しておくべきだと思います。また自分のこともよく聞かれるので英語で自分のことを説明できるようにしておくともよと思います。世界共通の会話のネタになるようなスポーツや映画、ニュースなども少し見ておくといいかもかもしれません。
この留学先を選んだ理由	フラトンはビジネスの授業に力を入れている学校であったので、私の専攻を深く勉強できると思い選びました。ロサンゼルスに近いということもあり、エンターテインメント系のビジネスの授業も多く開講されており、明治では勉強できない分野であると思い興味がわきました。また立地や気候も志望した理由の一つです。オレンジカウンティは温暖で過ごしやすいこと、ビーチなどの自然もあれば都会のロサンゼルスも近く、余暇も楽しめると思いました。
大学・学生の雰囲気	アメリカの大学すべてに共通して言えることかもしれませんが、生徒は基本的に着飾ったりしている人は少なく、みんなラフでリラックスしている人が多いです。キャンパスが広いのでスケートボードやキックボードで移動している人もいたり、自由でのんびりした雰囲気があります。一方、試験前などは図書館は人であふれ、朝方まで勉強している人が多く見られます。語学の授業もキャンパス内で開講されているため留学生もとても多く、ダイバーシティに富んだ学校だと思います。
寮の雰囲気	個人部屋があるシングルとベッドルームをシェアするダブルと一年生用のビルディングの3種類あります。寮に住んでいる生徒数がとても多くにぎやかでした。寮内にガストロームという食堂があり、ピュップ形式なのでそこでルームメイトとほぼ毎日のように食事をしていました。寮をパトロールしたり業務を行うRAという人たちがいて頼もしい存在でした。バーベキューなどのイベントも頻繁にあり友人を作りやすい環境であったと思います。
交友関係	留学当初は、ホームシックや言語の壁から日本人で固まってしまうがちでしたが、徐々に慣れ、世界各国からの留学生の友達や、アメリカ人の友達ができるようになりました。アドベンチャークラブといういろいろな自然スポットに遊びに行くクラブ活動にも参加し、週末は遊びの面でも充実していたと思います。春学期からは日本語のクラスのTAも始め、日本が好きな現地の学生との交流ができ、お互いの勉強を教えあったり言語交換を楽しみました。
困ったこと、大変だったこと	もっとも大変だったのはやはり学習面であったと思います。TAや語学の授業でも単位を取ることができるのですが、私はすべてビジネスの授業を中心にレギュラークラスを取っていたので毎日の勉強でもとても忙しかったです。春学期は特にディスカッションスタイルの授業を3つ取っていたので、講義形式より予習復習をしっかりしないと授業についていけないので大変でした。しかしその忙しさも、本気で勉強に取り組み始めた貴重な経験であるので結果的によかったなと思っています。
学習内容・勉強について	日本の大学の授業とは全く異なり、主体性や積極性が求められる授業ばかりでした。私はマーケティングや広告、国際ビジネス、エンターテインメントビジネスなどビジネスに関する授業を幅広く取りましたが、専門用語やディスカッションも多く授業についていけないこともありました。しかしそういった点は、事前の努力や準備でカバーできるので根気強く頑張ることが大事だなと思いました。あとは、積極的に周りに助けを求めることも大切なことだと思います。

課題・試験について	私が取った授業はそこまで課題は多くありませんでしたが、グループワークと試験の量が多くとても大変でした。授業外でグループで集まって話し合ったり、発表練習などに多くの時間を割きました。試験前は朝まで図書館に残り猛勉強したりするなど勉強中心の生活でした。こうした生活を支えてくれたのはオフィスアワーに通い教授に積極的にアドバイスを求めたり、クラスに友達を作って情報交換し助け合ったりできたからだと思います。
大学外の活動について	明治校友会ロサンゼルス支部の方々の会に呼んでいただいて OBOG の方と交流したり、ホストファミリープログラムに参加しさまざまなイベントにホストマザーにつれていってもらったりしました。
留学を志す人へ	留学に行くことを迷っているのなら、私は迷わず行くことをお勧めします。もちろん辛いことも多いかもしれませんが、その分学べることや日本ではできない経験も多く、一生の宝となると思います。留学においてもっとも大事なことは根気と困難も楽しむ前向きさだ、と私は思っているので、明るい気持ちであきらめずに留学という夢、またその先の目標を実現させるために頑張ってください。応援しています！

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	自由					
	自由	授業	課題	授業	ジム	クラブ	課題
午後	自由	授業	TA	授業	課題	クラブ	課題
	課題	課題	TA	休憩	課題	クラブ	課題
夕刻	授業	ジム	友達と会う	授業	課題	課題	友達と夕食
夜	授業		課題	授業	友達と会う	課題	課題